

# 重力波による 宇宙観測

講師

名古屋大学大学院・理学研究科  
素粒子宇宙物理学専攻・教授

## 川村 静児

### 開催日時

7 / 10 (土)  
2021.

13:30~15:15  
(接続開始 13:00)

講演開始10分前には、  
視聴URLにアクセスいただき  
視聴状態をご確認ください。

### 会場

YouTubeライブ配信  
**オンライン**

お申し込みいただいた方には、開催日前日に  
メールにて接続先URLをお知らせします。

### プログラム

- 13:00 接続開始
- 13:30 開会のあいさつ  
放送大学愛知学習センター 所長 氏家 達夫
- 13:35 「重力波による宇宙観測」  
名古屋大学大学院・理学研究科  
素粒子宇宙物理学専攻・教授 川村 静児
- 15:00 質疑応答
- 15:15 閉会のあいさつ

### 定員

**120名** 参加費無料  
(通信費自己負担)

### 詳細・申し込み

お申し込みは  
こちらから ▶  
お申込み締め切り

2021年7月3日(土)



講師 名古屋大学大学院・理学研究科  
素粒子宇宙物理学専攻・教授

川村 静児氏 (かわむら せいじ)

### 講演概要

アインシュタインが一般相対性理論で重力波の存在を予言してからほぼ100年後の2015年、ついにアメリカのLIGO(ライゴ)により重力波が初検出されました。最初に見つかった重力波は、13億光年かなたにあるブラックホール連星の合体からやってきたものでした。その後も、次々とブラックホールや中性子星の連星合体からの重力波が検出され、これまでの電磁波やニュートリノによる観測では見えなかった新しい宇宙の姿が見えるようになりました。さらに将来は、日本が推進しているスペース重力波アンテナDECIGO(ディサイゴ)により、宇宙誕生直後に起こったと考えられているインフレーションの時代に生み出された原始重力波を検出しようとする計画もあります。本講演では、重力波の基礎から始め、重力波の発生源、重力波の検出方法、これまでの重力波による宇宙観測により新たに分かったこと、そして原始重力波の検出を含む将来の重力波観測の可能性について詳しく解説します。

### プロフィール

#### 《専門分野》

重力波物理学

#### 《略歴》

2017-現在 名古屋大学・教授

2011-2017 東京大学・宇宙線研究所・教授

1997-2011 国立天文台・助教授のちに准教授

1995-1997 カリフォルニア工科大学・Member of Professional Staff

1993-1995 カリフォルニア工科大学・Staff Scientist

1992-1993 イノバテック代表

1990-1992 カリフォルニア工科大学・Staff Scientist

1989-1990 カリフォルニア工科大学・Research Fellow

#### 《著書》

・「重力波とは何か」(幻冬舎, 2016)

・「重力波物理の最前線」(共立出版, 2018)

・「小学館の図鑑NEO[新版]宇宙」(小学館, 2018)一部監修、著

Seiji Kawamura, “Advanced Interferometric Gravitational-wave Detectors”  
(World Scientific Pub Co Inc, 2019)Chapter 2

#### お問い合わせ

 **放送大学** 愛知学習センター

放送大学は放送大学学園(文部科学省・総務省所轄)によって設置された正規の大学です。

✉ Email / [aichi.sc@ouj.ac.jp](mailto:aichi.sc@ouj.ac.jp)

☎ TEL / 052-831-1771

🌐 URL / [www.sc.ouj.ac.jp/center/aichi/](http://www.sc.ouj.ac.jp/center/aichi/)

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学センタービル4階